

事務事業名	ふるさと学習推進事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	25	終了	
H27担当課等名	生涯学習・スポーツ課	H27係等名	地育力向上係	H26係等名		地育力向上係						
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かななづくり									
	施策	22	義務教育の充実									
目的	対象(誰・何を)	小学生、中学生						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	ふるさとを知り、愛着と誇りを持ってもらう							飯田市立小中学校数		28	
	向上させたい上位施策の成果指標	キャリア教育、体験活動により、自分の生活を見直すことのできた生徒の割合:%										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	小中学校におけるふるさと学習の支援校数			28	28	28	28				
	定性目標											
事業概要	<p>・地育力向上連携システム推進計画【改定版】の取組みの重点ポイントの一つとして、ふるさと飯田を知り、ふるさと意識を醸成する「ふるさと学習」の推進を位置づけている。本事業では、教育委員会職員がコーディネーターとしての役割を果たしながら、小中学校において、地域資源と地域の人に触れ体験的な学びを行う「ふるさと学習」の推進を図る。</p> <p>・ふるさとを理解するため、また地域の一員としてふるさとの将来を考えられるようにするため、地域の自然、歴史、文化、産業など、また地域づくり、防災、福祉、環境などを地域の方から学べるような内容として全小中学校にて取り組み、ふるさとを愛する心を育む。また、社会奉仕活動、フィールドスタディ、まちづくり組織等への提言などにも取り組めるようにする。</p>											
事業内容				名称				活動指標				
26年度事業内容	1 小・中学校におけるふるさと学習の実施支援(コーディネート、経費助成) (1)各教科、総合的な学習の時間、特活等で地育力を活用した学習を支援 (2)市内小中学校教員の地域研修への支援				1 (1)支援校数 (2)支援校数				1 (1)28校 (2)12校			
	2. ふるさと学習を支援する市民研究団体との協働会議 ・伊那谷研究団体協議会等との懇談・学習プログラムの企画等				2 協議会議開催数				2 2回			
	3 学習情報の発信 ・地域資源紹介リスト及びふるさと学習推進のための手引き書の作成、整備、学校への提供				3 情報提供した学校数				3 28校			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		2,062	1,635	1,437	1,553	(そ)ふるさと寄附金						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他				50								
一般財源		2,062	1,635	1,387	1,553							
人件費計(千円)②		1,430	/	1,788	/							
正規職員所要時間		400		500								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,492	1,635	3,225	1,553							
事業内容・目標達成状況の振り返り	ふるさと学習をより効果的な内容とするために、交付金交付要領及び計画書、報告書の様式を見直した。また、学習の参考としてもらうため地域資源紹介リストの改訂版を作成するとともに、手引書「ふるさとを愛し誇りに思う子どもたちに」を小学校、中学校より各1名の先生方の協力をいただき作成し、学校への配布及びホームページへの掲載を行った。											
改革改善の考え方	①問題点	地域資源が十分活用されていない状況があり、地区公民館との連携により地域資源を活かした取組となるよう支援していく必要がある。										
	②改革提案	地域資源を活用したふるさと学習となるよう「地域資源紹介リスト」の内容を充実させ学校へ情報提供する。また、公民館、社会教育機関等と連携を図り、講師の派遣など地域と一体となった支援体制を整備する。										